

公共政策への関与に関するタケダの見解

概要

- タケダが「世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する」という私たちの存在意義（パーパス）を果たそうとする上で、そこに大きな影響を及ぼすものに、国や世界で施行される公共政策があります。
- 私たちは、「すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために」という約束を掲げています。公共政策への関与は、そのための重要な取り組みの一つです。そしてその取り組みは、法律を遵守し、透明性をもって行うことが大切であると考えます。
- アドボカシーとは、問題に対する関心を高め、政策に影響を与えるためのさまざまな活動のことです。タケダでは、患者さんと社会にとって価値ある健康上のメリットを提供することを全体の目的として、アドボカシーを通じて公共政策に関与しています。
- タケダのアドボカシー活動には、科学的知見と事実に基づく情報の共有、特定の法律に賛成または反対するロビー活動、政治資金団体への寄付、業界団体への参加があります。
- 自社の企業理念と法的義務に従い、タケダでは公共政策への関与に関連する財務活動を少なくとも年に1回開示しています。

背景

私たちの存在意義は、「世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する」ことです。これを実現するうえで重要なパートナーになるのが、政策立案者です。なぜなら、質の高い医療を人々が安価に利用できる環境には、政策が重要な役割を果たすからです。高所得国では、ヘルスケア関連の支出のほぼ半分を政府の移転支出が占めているほどです¹。さらに、ヘルスケアおよびイノベーションのエコシステム全体に影響を及ぼすのも、政策、法律、規制です。製薬業界は規制の厳しい業界であるため、公共政策の行方によっては、革新的な医薬品を患者さんにお届けするための私たちの活動に影響が及びます。

タケダの見解

医療の提供と患者アウトカムの改善において政策立案者が果たす役割に鑑み、私たちの存在意義を

果たし、患者さんと社会にとって価値ある健康上のメリットを提供するためには、法律を遵守し、透明性をもって、公共政策に建設的に関与することが重要であると、私たちは考えます。

タケダでは、ロビー活動や政治資金団体への寄付、業界団体への参加といったアドボカシー活動を通じて公共政策に関与しています。こうした活動はどれも、イノベーションへの投資を促す政策環境を整えること、患者さんの医薬品アクセスレベルを改善すること、医療制度の全体的な改善に貢献することを目的としています。私たちは、政策に関する議論の材料となるよう、科学的知見と事実に基づく情報を政策立案者および規制当局と共有しています。タケダには、誠実、公正、正直、不屈という要素で構成されたタケダイズムという価値観があります。この価値観は、「1. 患者さんに寄り添い (Patient) 2. 人々と信頼関係を築き (Trust) 3. 社会的評価を向上させ (Reputation) 4. 事業を発展させる (Business)」という優先順位に沿って行動することで実践されます。私たちは、他のすべての活動と同様、公共政策への関与においても、この価値観を指針としています。

ロビー活動に関する支出

タケダのロビー活動は、ガバメント & パブリックアフェアーズ担当の従業員が直接実施する場合と、適格な第三者機関を通して実施する場合がありますが、どちらも適用される規制と情報公開に関する法律に従って実施されています。ロビー活動や働きかけの委託、その他の同様の取り組みのために米国、欧州、日本で 2021 年度²に支出した金額は、6 億 5,980 万円³になります⁴。

米国では、四半期ごとにロビー活動のレポートを提出し、そのなかで議会および連邦当局に対して実施した、米国全体に関係するロビー活動について報告しています。このレポートは、議会へのロビー活動に関する情報開示サイトに掲載されています。EU 圏では、EU の政策および意思決定プロセスに影響する活動に関する費用をレポートにまとめ、年に 1 度提出しています。このレポートは、EU Transparency Register に掲載されています。

政治資金団体への寄付

タケダでは、公共政策の議論への関与の一環として、透明性をもって、法律と規制を遵守して、政治資金団体への寄付を実施しています。私たちは、政党を問わず、公平で客観的な基準をもって候補者を支援することとしています。そうして支援する候補者には、患者さんと社会にとって価値ある健康上のメリットを提供するという私たちの目標に沿う政策を支持する候補者が含まれます。

米国では、2 種類の機関を通じて政治資金団体への寄付を行っています。タケダの政治活動委員会 (TakPAC) と法的に認められた企業基金の 2 種類です。TakPAC は、連邦選挙管理委員会に登録されている独立した財団で、登録されたロビイスト PAC である Takeda Pharmaceuticals America, Inc. と関係性があります。TakPAC は、連邦、州、地区当局の候補者に資金面やその他の支援を行うことを目的としています。TakPAC への従業員の参加は完全に自主的なものであり、寄付に関するガイドラインはどれも提案のみに留まっています。したがってガイドラインを超える、またはそれより少ない寄付を行うかどうか、まったく寄付を行わないかも、従業員自身の裁量で決定されます。タケダでは、寄付の有無や金額によって従業員の待遇を良くすることも、悪くすることも、あり

ません。TakPAC の活動レポートは毎月提出し、選挙の年には、必要とされる追加のレポートも提出しています。PAC によるすべての寄付は TakPAC Annual Report に掲載されています。

タケダからの寄付とは別に、タケダの従業員は自身の能力の範囲内で政治資金団体への寄付や政治活動を行うことができます。ただし、タケダでの役割および責任を損なう可能性のある政治的関与を行うことは禁止されています。

業界団体

業界団体に参加することで、私たちの視点や経験を適切な政策決定のために活かしつつ、患者さんをはじめとするステークホルダーに業界の真摯な取り組みについて伝えるための重要な機会を得ることができます。タケダが参加している団体は、製薬業界を代表し、幅広い政策課題に統一見解をもたらすことを目的とした、国内および国際的な業界団体です。こうした団体に加盟していても、私たちの見解がその団体や他の加盟企業の見解と常に一致するとは限らないことを私たちは理解しています。タケダでは、懸念があった場合、必要に応じて、こうした団体の理事会や委員会の仕事をする従業員を通じて、その懸念を表明することとしています。また当社は、現在米国で加盟している、年間の加盟費用が 2 万 5,000 ドルを超える 業界団体のリスト を公開しています。

まとめ

バイオ製薬企業としてのタケダの存在意義を果たす上で、政策立案者は重要なパートナーです。政策、規制、法律は、ヘルスケアおよびイノベーションのエコシステム全体に影響を与えるものであるからです。私たちは、公共政策への関与は重要な活動であり、その取り組みは、法律を遵守し、透明性をもって行うことが大切であると考えています。タケダでは、社会の健康に寄与することを目的に、責任あるロビー活動や政治資金団体への寄付、業界団体への参加を通じて、政策課題に関与しています。さらに、自社の企業理念と法的義務に従い、ロビー活動に関連する財務活動を少なくとも年に 1 回開示しています。

武田薬品工業について

武田薬品工業株式会社は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー（がん）、ニューロサイエンス（神経精神疾患）、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。

2023 年 1 月

¹ Global expenditure on health: public spending on the rise? Geneva: World Health Organization; 2021. Licence:CC BY-NC-SA 3.0 IGO. (p.19).

² 2021年4月1日～2022年3月31日

³ 出典:タケダの2021年度第4四半期決算発表(1ドル = 112円、1ユーロ = 131円)

⁴ 2021年度の当社の売上収益に占める米国、欧州、日本の割合は87.2%です。